

## 資料 2

### 各病院の主な取組み

各病院において、次のとおり、府立の病院としての役割を果たすための取組みや、医療課題に適切に対応するための診療機能の充実に取り組みました。

<26年度の取組み>

#### ◆ 急性期・総合医療センター

- 基幹災害医療センターとしての大規模避難訓練の実施と、ER部門の新設による積極的な救急搬送患者の受入れ  
(救急車搬入患者数 26年度 6,582人 [25年度 5,936人])
- 地域がん診療連携拠点病院として、専門的な質の高いがん医療の提供  
(がん手術件数 26年度 1,529件 [25年度 1,451件]、  
化学療法件数(注射薬のみ) 26年度 9,839件[25年度 9,368件])
- 小児医療センターとして、小児救急患者の積極的な受入れ  
(小児科時間外受診者 26年度 2,971例[25年度 2,338例])
- 精神・身体合併症患者の積極的な受入れ  
(精神科救急・合併症入院料算定患者数 26年度 287件 [25年度 185件])
- 急性期からの一貫したリハビリテーション医療の提供  
(一般病棟のリハビリテーション実施単位数 26年度 101,392件 [25年度 93,756件])

#### ◆ 呼吸器・アレルギー医療センター

- 慢性呼吸不全に対する円滑な在宅移行を見据えたきめ細かい専門医療の提供  
(在宅人工呼吸器使用患者数 26年度 48人 [25年度 43人])
- 皮膚科における重篤な患者への診療の実施  
(光線療法を実施した皮膚科患者数 26年度 4,098件 [25年度 3,633件])
- 結核患者に対する透析など専門性を生かした合併症治療  
(透析を実施した延べ結核患者数 26年度 255件 [25年度 166件])

#### ◆ 精神医療センター

- 危険ドラッグによる入院患者など民間医療機関における処遇が困難な患者の受入れ  
(薬物使用患者数のうち危険ドラッグ使用件数 26年度 28件 [25年度 24件])
- デイケア・ショートケアの参加者拡大と円滑な実施  
(一日あたり平均デイケア・ショートケア参加人数 26年度 52.04人 [25年度 51.83人])
- 麻酔科との連携による修正型電気けいれん療法の実施  
(修正型電気けいれん療法実施件数 26年度 349件 [25年度 292件])

#### ◆ 成人病センター

- 難治性・進行性・希少がん患者への最適な集学的治療の実施  
(難治性がん手術件数 26年度 912件 [25年度 878件])
- 患者一人一人の症例に最適な治療法の選択や低侵襲ながん手術の実施  
(ESD内視鏡的粘膜下層剥離術 26年度 649件 [25年度 519件])
- IMRTのバージョンアップによる放射線治療の高速化  
(放射線治療(IMRT)件数 26年度 10,651件 [25年度 8,660件])

\* IMRT(強度変調放射線治療):放射線に強弱をつけ、腫瘍の形状にあわせて放射線を集中照射することで、周囲の正常組織への照射を減らすことができる治療方法

◆母子保健総合医療センター

- 新生児や胎児に対する手術などの高度専門医療の提供  
(新生児(生後 28 日以内)に対する手術件数 26 年度 129 件 [25 年度 106 件])
- 入院している子どもの在宅療養への移行を支援  
(在宅療養指導管理料算定実患者数 26 年度 1,039 人 [25 年度 973 人])
- 総合周産期母子医療センターとして安定的な周産期医療を提供  
(産科母体緊急搬送コーディネート件数 26 年度 134 件 [25 年度 134 件])